



概要

GPD-3605 は、MS-DOS, PC DOS 上のアプリケーションから、弊社アナログ入出力製品の制御を行うためのソフトウェアです。

特長

- サンプル機能と 1 件入力機能を行うことができます。
- トリガ条件として、ソフトトリガ/外部トリガ/レベルトリガを選択できます。
- ソフトウェアからオフセット・ゲインの調整を行うことができます。
- トリガディレイ機能を持っていますので、事象発生の前後や、事象発生から指定時間経過後のデータを捕らえることができます。

- 外部クロックに同期したサンプリングを行うことができます。

[DA 機能]

- 連続出力機能と 1 件出力機能を行うことができます。
- 指定したバッファのデータの連続出力を繰り返し出力することができます。
- トリガ機能を備えていますので、トリガ発生と同時にアナログ出力を開始または終了することができます。
- ソフトウェアからオフセット・ゲインの調整を行うことができます。

[カウンタ機能]

- 機能モードを切り替えることで、パルスカウント、平均周波数測定、周期測定、位相差幅測定、タイマ、分周器、パルスジェネレータとして各チャンネルを使用することが可能です。
- 各種エンコーダからの出力パルスのカウントに対応しています。
- ラッチ機能を搭載し、ラッチ発生時のカウンタ値と入力端子状態を保存することが可能です。
- 豊富な割り込み機能を搭載しており、割り込み発生時にはコールバックイベントを発生させることが可能です。

対応 OS

Interface DOS System(ネットワークモデル)
Interface DOS System(日本語環境モデル)

対応言語

Turbo C Ver. 2.0(英語版)
Turbo C++ Ver. 4.0
Borland C++ Ver. 5.0, 5.2
Microsoft C Ver. 6.0
Microsoft C/C++ Ver. 7.0, 8.0
Open Watcom C/C++ Ver. 1.5, 1.6

注意事項

—